

(別添様式2)

## 平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学 校 名
檀原市	檀原市立大成中学校

### 1 基本コンセプト

- 読書を通じて生徒が、図書への関心を高め、読解力や表現力、想像力を豊かにし、学力向上、人間形成に寄与できるよう学校生活の図書室を活動拠点に取り組んでいます。
- 本年度より英語、数学の2教科について地域を中心としたボランティアの方々から指導を受ける放課後の補充学習に取り組んでいます。各教科とも毎週1回、放課後1時間を目途に、個に応じた学習支援を行い、基礎的・基本的な内容の定着を図っています。
- 本年度、バスケットボール部に指導支援ボランティアの方に来ていただいています。強い意欲と熱意をもって指導にあたってもらっています。常に顧問と連携を取りながら練習に取り組んでいます。一人ひとりのよさを十分に生かせるようなチームづくりを目指しています。



### 2 特徴的な取組の概要

- 学校生活の図書室を活動拠点に身近な内容で、生徒と連携しながら地道な支援活動を継続的に取り組んでいます。  
今年度の主な活動内容は、以下のとおりです。
  - (1) 蔵書管理の支援活動
  - (2) 図書貸出運営の支援活動(昼休み・放課後)
  - (3) 「図書だより」の定期発刊、広報支援活動
  - (4) 「学級文庫」開設の支援活動
- 学校長とコーディネーターとの話し合いを数回もち、放課後補充学習のねらいや、計画等について共通理解をはかりました。また、コーディネーターとボランティアの方との話し合いを重ね、共通理解を深めスタートしました。  
ボランティアの方々には、得意とする分野を中心に指導してもらっています。基本的には生徒は自主参加で、自らが課題をもって参加し、それに対してボランティアの方々が解説し質問を受けながら学習を進めていく形態をとっています。
- 自らのバスケットボールの経験を生かし、基本的な内容から実践面、また精神面のサポートに至るまで幅広く指導にあたってもらっています。生徒達から見ても兄貴的な存在で熱意を持って指導にあたってもらっているため、生徒達からの信頼も厚く慕われる存在として、今やなくてはならない人材です。チームとしても徐々にまとまり、精神的にも技術的にも強くなりつつあります。これからの活躍が楽しみなチームに育ってきています。

